事業番号	15　09　02

事業改善シート（31年度実施事業分）

■当初要求　□当初予算案　□補正予算案　□点検

事　業　名	安全・安心な学校給食及び食育の推進事業	部局	教育委員会	課・室	保健厚生課
		実施期間	不明 ～	E-mail	hokenko@pref.nagano.lg.jp

総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）	
総合的に展開する重点政策	1-1 生きる力と創造性を育む教育の推進

1　事業の概要

現状（予算編成時）	○家庭環境や社会環境の変化に伴い、朝食を欠食する児童生徒が増える傾向にあり、また栄養バランスが不十分な食事や子どもたちだけで食事をする孤食の状態にある児童生徒も一定程度存在する。 ○学校給食摂取基準が改定（H30.8.1）され、学校給食における食塩相当量の摂取基準値が2g未満（小学校高学年及び中学校は2.5g未満）となった。長野県では全国的にも成人の食塩摂取量が多い傾向にあり、信州ACEプロジェクトにおいても減塩が課題となっている。	31年度要求額	39,933 千円
		職員数	2.95 人
目指す姿	○児童生徒が食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付け、心身の健全な発達を促している。 ○学校給食を活用した食に関する指導及び家庭への情報発信により、児童生徒の食生活全体の改善を促している。 （主な実施内容：栄養教職員に対する研修実施、夜間定時制高等学校における夜間学校給食の実施、学校給食用食材の放射性物質検査　など）		

事業コスト

区　分（単位：千円）		29年度	30年度	31要求	31予算案
予算額	前年度繰越				
	当初予算	38,654	36,756	39,933	
	補正予算	−7,873			
	合計（A）	30,781	36,756	39,933	0
Aの財源	一般財源	30,760	36,490	35,716	
	県　債				
	国庫支出金		250	4,200	
	その他	21	16	17	0
決　算　額（B）		27,458			
概算人件費	職員数（人）	2.83	2.83	2.95	
	概算人件費（C）	22,929	22,929	23,901	0
概算事業費（B（A）+C）		50,387	59,685	63,834	0

指標及びその達成状況

No	成果指標	29年度末	30年度末（見込）	31年度 目標値	31年度 成果	31年度 達成状況
①	朝食を欠食する児童生徒の割合	小6　3.2 中3　5.0	小6　4.2 中3　6.5	現状以下		
②	学校給食における1食当たりの食塩相当量（単独調理場）	小学校2.6g 中学校3.0g	現状以下	現状以下		
	学校給食における1食当たりの食塩相当量（共同調理場）	小学校2.6g 中学校3.3g	現状以下	現状以下		

成果指標設定理由	①朝食をきちんと食べることは、望ましい生活習慣の形成ににつながりやすいこと等から、朝食欠食率とした。 ②児童生徒が薄味（減塩食）に慣れることは、将来に渡る健康的な食習慣の習得につながることから、学校給食における食塩相当量とした。

指摘事項等への対応	指摘事項・意見	対　応
□監査 □決算特別委員会 □県民協働による事業改善		

予算要求からの主な変更点	

2　事業を構成する細事業の内容

（単位：千円）

No	細事業名	31年度　実施内容（予定）	職員数（人）	30年度（当初）	31年度（要求）	31年度（予算案）
1	夜間定時制高等学校夜食費	夜間定時制高等学校における夜間学校給食（夜食）の実施及び食材料費の補助（1食当たり71円）	0.77	28,384	26,957	
2	学校・家庭・地域全体で取り組む食育推進事業費	栄養教諭・学校栄養職員経験者の研修、「長野県学校給食フェア」の実施（ゼロ予算）等	1.50	928	1,164	
3	安全・安心のための学校給食環境整備事業費	学校給食用食材の放射性物質検査（県内4教育事務所において年間約2000検体を検査予定）	0.56	7,444	7,612	
4	つながる食育推進事業（国委託）	モデル校において、学校を核とした地域や関係機関と連携した食育事業を実施及び家庭へのアプローチ手法の開発　等	0.12	0	4,200	
		合計	2.95	36,756	39,933	0